

# あおぞらつくみ通信

発行日：令和7年4月28日

○第101号○

社会福祉法人あおぞらつくみ福祉会  
○あおぞらつくみの家  
東大阪市加納5-12-25  
☎072-872-9211  
○ほたる  
東大阪市日下町7-3-57  
☎072-981-5200  
発行責任者 橋之爪 栄



右…新しい仲間の歓迎会！真ん中の絵は、仲間と描いた「あおぞらつくみの木」です  
左…近所の公園へお花見に行ってきました！

## ◆ も く じ ◆

- ・ 令和7年度事業計画 2P
- ・ 1年を振り返って 3~4P
- ・ 私のキラリ☆ほっと 5P
- ・ 新利用者・職員紹介 6P
- ・ 後援会だより15号 7P

# 7年度あおぞらつくみ福祉会の事業計画

## ―ぞらに飛躍の年度に―

利用者が  
主人公として  
輝ける毎日を

一人一人のペースを大切にしながらも、人とのつながりの中で成長していける、集団性を大事にした実践を進めます。また、メリハリのある魅力的な取り組みを用意し、利用者さんが主人公として毎日を意欲的に、楽しく過ごせることを目指します。そのためにも職員は研修などに積極的に参加しスキルアップをはかりながら、実践に磨きをかけていきます。



中長期計画を立て、  
法人の発展と経営の  
安定化を

計画的な運営により、明るい展望をもって経営が進められるように努めます。職員、家族の代表、後援会役員も交えた将来計画会議を開催し、実現可能な中長期計画の作成に着手します。

家族のニーズにも  
こたえらるよう

共働き家庭で仕事と介護に追われて大変な思いをされているケースが増えています。一方で高齢化の進む家族にとって介護負担は日々のしかかる深刻な問題でもあります。良心的なサ



ービス事業所との協力関係をさらに広げつつ、法人独自でも家族負担の軽減のため出来ることはないか、策を講じていきます

グループホーム開所の  
実現に向けて

老障介護の問題は深刻さを増してきています。家族や本人が安心して、これからの人生を豊かに過ごして頂くために、GH建設は法人の直近の課題です。開所実現に向けて具体化を進めます。

防災対策の強化を

南海トラフ地震の備えの重要性が叫ばれる昨今です。当法人でもいざという時の備蓄品の完備などを進めてきました。災害が現実のものとなった場合を想定し、さらに対策を強めていきます。  
(橋之爪)

# 昨年度を振り返って～あおぞらつぐみの家～

昨年度のあおぞらつぐみの家を振り返ると「集団性」「役割」という言葉が頭に思い浮かびます。先ず、これまで1階班と2階班に分かれて行っていた音楽・創作・散歩の作業外活動、そして、

各班で行っていた昼食・作りやおやつ作りのクッキングを全員で行うようにしました。

仲間が活動している姿を見てみると、大きな集団で行うからより多くの注目が集まり、より大きな拍手がもらえて嬉しい、そして、他の人がやっていることを見て自分もやってみたいという気持ちになるといった、大きな集団ならではの良さが感じ取れます。創作では、節分の豆まきに使う等身大の「鬼フィギア」や入所式に使う2m越えの大作「あおぞらつぐみの木」をみんな

で作成しました。個人で作品作りをする楽しさに加えて、大きな作品を皆で創り上げていく面白さも感じ取ってもらえたのではないかと思います。



班の垣根を外した活動を重ねることで、職員も自分の所属する班以外の利用者への理解が増しました。その違いを最も感じられるのが職員会議です。職員会議

でケースを話し合うとき、より多様な意見・助言が出るようになりました。実は、私たち職員は仲間の話をし始めると楽しくて、仲間の色んなエピソードが飛び出して、ついつい話が止まらなくなるのですが、そんな風に仲間の話ができる職員会議に変わって来ています。

あおぞらつぐみの家ではこの1年間、作業も、活動も、班での生活も、仲間の役割を決めて出来るだけ自分たちで進めてもらうように実践してきました。そうすることで作業室には「終わりの会するで!」「エイエイオーツ!」「アー!!(がんばれ!!)」と仲間たちが声を掛け合う音が響くようになって来ました。職員の声ではなく、仲間の声で作業や活動が動く雰囲気芽生えてきました。

各人のペースを尊重し、興味関心に働きかけることで作業や活動を手応えのあるものに変えようと取り組んだ一昨年、そして、集団の中で輝く喜びを経験することで「かけがえない自分」を感じ取ってもらおうと取り組んだ昨年度、まだまだ不十分ですが、2年かけてようやく「障害の重い人を取り残さない」「仲間が主人公」という、私たちが目指している実践と仲間たちの姿が重なるようになって来ました。

今年度は支援学校を卒業したピカピカの18歳が2名入所されました。仲間が増えた今年度、仲間と職員の良い声の響き、仲間たちの笑顔で互いに声を掛け合う日中活動になることを目指し、職員一同、力を合わせて頑張ります。(山田)

# 昨年度を振り返って〜ほたる〜

世間では、新型コロナウイルスの方もすっかり緩和されつつありますが、実際に終息まで至っていないのが現状であります。6年度、ほたるでは予防対策を継続しつつ、可能な限り外出を実施しました。例えば近隣や公園への散歩の実施や月に2回の土曜開所でも外に出る機会を積極的に設けるよう努めました。また2回のボータスの取り組みでは、四条畷イオンへ出向き、利用者さんが賞与の封筒を握りしめ、食べたい物を嬉しそうに注文される姿を見る事も出来ました。年始には、石切神社へ初詣に皆で出向き、良い1年になるように祈願して参りました。



作業面では、2つの会社からの軽作業と近隣の生活介護の事業所からの委託で頂いている作業の3種類の作業を主に行っていました。作業は基本午前中に行い、3種類の作業がある程度均等に回ってくるようにシフト制で行っていました。流れ作業の形式で行い、利用者さんが作業を行いやすいように台紙を用意するなど、工夫をこらしてきました。



また年度の途中から新たに別の会社から作業を頂けることになったのですが、工程が多く工夫次第で利用者さん全員が何らかの役割を担える事が出来、魅力的な作業でした。利用者さんからの受けも良く、作業終了後もまだやりたいと訴えてこられる方もいました。



今年度は、それぞれが役割を担い、1つの作業を協力し合って仕上げる事で、集団性を育んでいけるような試みや新しい授産品の開発や日帰り旅行の企画等、新たな挑戦もしていきたいと思っております。

今年度もほたる一同団結力を深め、明るい笑顔溢れる事業所を目指して精進して参りますので、どうぞよろしくお願致します。

(浦本)

# 私のキラリ☆ほっと

## ☆ある日急い…☆

給食で提供されるヤクルトを「開けてコップに移して」と職員に依頼するOさん。最近では職員がフタを開けて、自分でコップに入れる練習をしていましたが、なかなか上手くいかない日が続いていました。

ある日、職員に頼ることなく自分でヤクルトを開けて飲んでいました。次の機ではフタを開けることは出来ませんでした。コップに移すことは出来ました。日々の何気ない取り組みの大切さを教えてくださいました。また、その日の得意げな顔は忘れられません。



## ☆仲良く作業☆

作業が得意なN田さん。エチケツト袋の作業工程をすべて自分で完結出来るようになっており、自信にもなっていました。空き時間にもエチケツト袋作りに熱中されるようになっていました。ある日、楽しそうな姿が気になったのか仲良しのN元さんが隣に座り、楽しく会話をしながら一緒に

作業をされていきました。ネジ作業のエキスパートであるN元さんはエチケツト袋作業をする機会が少なかったのですが、仲よし同士で楽しく作業をする事で上手く出来るようになっており、いつの間にか作業工程もほとんど覚えていました。職員が関わらなくても人間関係を築いて成長出来る事を教えてくださいました。

(小山)



## ほたるで

## 太陽光発電

## はじまる

2月24日に、ほたるの屋上にソーラーパネルを設置しました。

太陽光発電は、太陽光のエネルギーを電気エネルギーに変換して発電するもの。再生可能エネルギーであり電気料金を安く抑えるだけでなく、環境保護やエネルギーの自給自足に貢献するという点でも有意義だと考えています。



## 新利用者・職員紹介

みやげ  
三宅 ゆら さん



はじめまして。東大阪支  
援学校を卒業して4月から  
あおぞらつぐみの家に仲間  
入りさせて頂いた三宅 ゆ  
らと申します。東大阪市西  
岩田から通っています。お  
しゃべりは出来ませんがハ  
イタッチでのコミュニケーション  
シヨンは大好き！お友達と  
のコミュニケーションも大  
好きです！これから皆さん  
と一緒にお仕事にもチャレ  
ンジしながら楽しい時間を  
過ごしていけたらなと思い  
ます。どうぞ、よろしくお願  
いします。

なりた かいと  
成田 海翔 さん



4月からお世話になっ  
ています。  
人が好きで、いろんな人  
にタッチを求めて寄って行  
きます。楽しい時や嬉しい  
時はクルクル回っていま  
す。好きな事はドライブと  
音楽を聞くことです。  
これから、いろんな事を  
経験して毎日笑顔で楽しく  
過ごせるといいなと思いま  
す。  
みなさん、どうぞよろし  
くお願いします。

こじま りょうへい  
小島 良平 支援員



この度、3月1日付でほ  
たるに配属になりました。  
小島良平と申します。  
以前はグループホームの  
職員をやっていました。ホ  
ームでは身体障害を持って  
おられる方が少なかつた  
為、経験が乏しい部分もあ  
りますが、施設長や先輩職  
員さんから色々学び、早  
く戦力となるように頑張  
っていきたいです。  
また、利用者さんが気兼  
ねなく話せて安心できる存  
在となれるように関係を構  
築していきたいと思ってお  
ります。  
今後ともよろしくお願  
い致します。

シルバー人材  
センター派遣

おおた  
大田 アイ子 さん



初めまして。大田アイ子  
と申します。  
2025年1月よりほと  
るで清掃員として、皆様に  
良くして頂きながら、楽し  
く働かせて頂いておりま  
す。精一杯頑張らせて頂き  
ますので、どうぞよろしく  
お願い致します。



# あおぞらつづくみ後援会

第15号

## 総会6月14日決定!

第一部 総会 午前10時から

第二部 落語会 午前11時から

### お気軽にお越し下さいませ★

令和6年度も様々な物品販売や 0万円寄付することが出来ました。祭りに参加し、どの取り組みもほぼ例年以上の収益を上げることが 令和6年度の後援会総会が6月14日(土)に行われます。元気の出来ました。特に6年度は法人が出る報告が出来るものと思います。準備を進めていた災害対策の備蓄 また、第二部として、落語家さん(3日分の非常食)の3分の1の に来ていただき、楽しい時間を一費用11,5920円を寄付させ 緒に過ごして頂く予定です。ふるていただきました。例年どおり法 っでご参加ください。人の運営を助けるための資金も8

### きょうされん物品販売

今年もバレンタイン・ホワイトデーのお菓子販売に取り組みました。

純利益 11,095円

きょうされん春物品は今年度最後のとりくみでした。

純利益 11,106円

令和7年2月以降に入会  
あるいは更新を頂いた方  
の芳名です

ありがとうございました

相坂 百合香

新井 律子

佐藤 裕一

椎葉 裕人

中 邦江

中 浩二

成岡 唯

山内 政範

ユアライフ 21

(敬称略/50音順)

ただいるだけで

相田みつを

あなたがそこに  
ただいるだけで  
その場の空気が  
あかるくなる

あなたがそこに  
ただいるだけで  
みんなのところが  
やすらぐ

そんな  
あなたにわたしも  
なりたい



相田みつを：1924年 - 1991年 栃木県足利市出身の書家・詩人

## ○運転手求む○

利用者さんたちの送り迎えの  
お仕事です

7：30～9：30

16：00～17：30

お問い合わせはコチラ↓

TEL：072-872-9211

### ◎編集後記◎

春といえば桜、出会いと別れ。年末年始以上に「区切り」を感じる季節である。この歳になると、新しく変わることへの期待感よりも物憂げに感じる方が多い。そのせいなのか春になると、ふとした瞬間に涙が出てしまう。ついでにくしゃみ鼻水も止まらない。うん、犯人はずばり花粉である。コレさえ無ければ、少しは晴れやかになるんだけどなあ…。

編集担当

菱田